

# 談話会のお知らせ

講師

鹿児島大学

大学院 理工学研究科 (理学系)

教授・伊藤 稔 先生

タイトル

「高階のCayley-Hamilton定理  
で記述される不変式論

行列環のテンソル積（高階の行列環）におけるCayley-Hamilton型の定理を用いて生成元の関係式が記述できる不変式環について話したい。これ自体は多項式を成分とする高階の行列環が舞台であり、一見特殊な設定のようだが、通常が多項式環の不変式論への応用もある。時間が許せば、Pfaffian版の高階のCayley-Hamilton定理と、それを用いて記述される不変式論にも触れたい。

日時

平成30年12月20日(木)

16:30~17:30

場所

理A408室

問合先/世話人  
数理科学科/木本一史